



第 98 卷 第 5 号 史学・地理学・考古学

論 説

- 神社建築の形成過程……………山 岸 常 人 (1)
——平安時代前期・中期を中心に——
- 近世～近代初頭における神功皇后伝承……………久 世 奈 欧 (34)
——山城国伏見御香宮神社・桂女を中心に——
- 欧州政治共同体条約をめぐる
トランスアトランティック・ネットワーク……………高 津 智 子 (67)
——統一ヨーロッパ・アメリカ委員会とヨーロッパ運動——

書 評

- 渕原智幸著『平安期東北支配の研究』……………河 原 梓 水 (97)

紹 介

- 中尾芳治・栄原永遠男編『難波宮と都城制』……………寺 井 康 矩 (104)
- Glenn Dynner, *Yankel's Tavern:
Jews, Liquor, and Life in the Kingdom of Poland*……………福 元 健 之 (105)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

こうした観念を修正することなく実施された国家の規制は、意図せずして「地下経済 black market」の成立を導くことになった。つまり、当時の裁判記録で確認された、店頭での酒類販売自体はあくまでキリスト教徒が務める「隠れユダヤ人居酒屋」の横行である。地主のみならず、密売人（これもしばしばユダヤ人）が運んだ手工業品やタバコ、砂糖などを買う農奴からも、隠れユダヤ人居酒屋は大変重宝された商業施設だったのである。

このようにユダヤ人居酒屋は、分割後も封建的地域共同体のなかで存続していた。ここから考えられるのは、農奴解放による封建的諸関係の解消もつたであろう衝撃である。実際、先行研究はポーランド王国において農奴解放がなされた一八六四年を境に、ユダヤ人居酒屋が激減したとしてきた。

だが筆者は、YIVO ユダヤ学研究所にあるグートマツヒャー・コレクションを基に、右記の従来説に反論する。同コレクションは、プロイセンのラビだったエリヤ・ゲートマツヒャーに、一八七〇年代初頭まで届けられた生活相談書で構成される。その統

計的分析からは、ポーランド王国のユダヤ人が酒類販売に携わる割合は農奴解放前と比べて低くはなかったことが明らかになった。

本書の二つ目の特徴は、これらの生活相談書が丁寧に読み解かれるなかで、読者がユダヤ人民衆の語りに触れられるところにある。酒と賭博に耽る夫との離婚を望む人妻や、商売上の悩みを抱える居酒屋店主など、どれもつい立ち止まって読み込んでしまう魅力をもつ。だがとりわけ、自ら密輸に手を染めていることを告白し、他に良い仕事があれば足を洗いたいと述べる現役密売人（！）の声は示唆に富んでいた。彼にとつて酒類販売に関わることは、危険が伴うものであっても有力な稼ぐ手段であったのだ。

本書の結論では、以上のような「ヤンキエルの居酒屋」の世界は、工業化のもとでさらに社会変容が進展した一九世紀末まで続いたとされる。居酒屋という場所から、近代的資本主義の論理がいかに伝統的な経済社会に接合されたのかを考えても面白い。と、このように本書は、居酒屋論を通じて私たちの歴史的想像力をかきたてて

くれる。民衆歌や図像の利用も多く、文学や人類学に関心のある読者も満足の一冊だと確信する。

(239×163 mm, pp. xi + 249, December

2013, Oxford University Press, \$74.00)

(福元健之 京都大学大学院文学部博士後期課程・

日本学術振興会特別研究員)

受 贈 誌

(二〇一五年七月二日)

二〇一五年九月三〇日)

三康文化研究所年報 (三康文化研究所) 四

六

立命館法學 (立命館大学法学会) 三五九

RTTSUMEIKAN LAW REVIEW (The

Ritsumeikan University Law

Association) 三三二

韓國史研究彙報 (韓國国史編纂委員会) 一

六八・一六九

大美和 (大神神社社務所) 一二九

経済科学 (名古屋大学大学院経済学研究

科) 六三一

東北文化資料叢書 (東北大学大学院文学研

究科東北文化研究室) 八

- 東北文化研究室紀要（東北大学文学研究科
東北文化研究室） 五六
- 奈良文化財研究所紀要（奈良文化財研究
所）二〇一五
- 法學志林（法政大学法學志林協会） 一二二
一一
- 法學志林（法政大学法學志林協会） 一二二
一三
- 法學志林（法政大学法學志林協会） 一二二
一四
- 國史學（国史学会） 二一六
- 國家學會雜誌（国家学会事務所） 一二八—
五・六
- 岩手史學研究（岩手史学会） 九六
- 人文學報（京都大學人文科學研究所） CVI
- 史學雜誌（史學會（東京大学文学部内）
一二四—六
- 史學（三田史学会） 八五—一・二・三
- 經濟論集（ソウル大学校經濟研究所） 五四
—
- 政大史粹（政大史粹編纂小組）第二八期
- 日本史研究（日本史研究会） 六三五
- 日本歴史（日本歴史学会） 八〇七
- 信濃（信濃史学会） 六七—七
- アジア研究所報（亜細亞大学アジア研究
所） 一五九
- 東方學會報（東方学会） 一〇八
- 神戸大学史学年報（神戸大学史学研究会）
三〇
- 史迹と美術（史迹美術同致会） 八五六
- 國立臺灣大學 考古人類學刊（國立臺灣大
學大学院人類學系） 八二
- 經濟論究（九州大学大学院經濟学会） 一五
二
- 大谷大學史學論究（大谷大學文學部史學
科） 二〇
- 東方學（東方學會） 一三〇
- 史泉（関西大学史学・地理学会） 一二二
- 中山大学學報 社会科学版（中山大学學報
編集部） 五五—一
- 中山大学學報 社会科学版（中山大学學報
編集部） 五五—二
- 中山大学學報 社会科学版（中山大学學報
編集部） 五五—三
- 一橋研究（一橋大学大学院一橋研究編集委
員会） 四〇—一（通卷一八一）
- 法学家（中國人民大學） 二〇一五—三
- 日本學刊 JAPANESE STUDIES（中国社
会科学院日本研究所中華日本学会） 二〇
一五—三
- 日本學刊 JAPANESE STUDIES（中国社
会科学院日本研究所中華日本学会） 二〇
一五增刊
- 經濟研究（一橋大学經濟研究所） 六六一—三
- 文化（東北大学文学会） 七八—三・四
- 海南史學（高知海南史学会） 五三
- 史學雜誌（史學會（東京大学文学部内）
一二四—七
- 信濃（信濃史学会） 六七—八
- 日本民俗学（日本民俗学会） 二八二
- 湘南史学（東海大学大学院日本史学友会）
二四
- 日本史研究（日本史研究会） 六三六
- 紀尾井論叢（上智大学 Sapientia 会） 三
- 立命館法學（立命館大学法学会） 三六〇
- 日本歴史（日本歴史学会） 八〇八
- 立命館産業社会論集（立命館産業社会学
会） 五—一
- Territory and Seas 地理學研究（地理學
研究会） 九
- ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The
Official Journal of THE ANTHROPO-
LOGICAL SOCIETY OF NIPPON) 一
一二—一
- 社会經濟史学（社会經濟史学会） 八一—二

中央研究院 歴史語言研究所集刊(中央研

究院歴史語言研究所) 八六一—

史迹と美術(史迹美術同致会) 八五七

奈良文化財研究所概要(奈良文化財研究

所) 二〇一五

美術研究(東京文化財研究所) 四一六

成大歴史學報(國立成功大學歷史學系

八

信濃(信濃史学会) 六七—九

三康文化研究所報(三康文化研究所) 五

○ 國家學會雜誌(國家學會事務所) 一二八—

七・八

岐阜經濟大學論集(岐阜經濟大學学会) 四

九—一

史學雜誌(史學會(東京大學文學部内))

一二四—八

韓民族文化(釜山大學校韓民族文化研

究所) 五六

愛知大學文學論叢(愛知大學文學会) 一五

二

考古學報(中國社會科學考古學研究所) 二

〇一五—三

日本史研究(日本史研究会) 六三—七

Journal of Northeast Asian History

(Northeast Asian History Foundation)

二—一

The Journal of Territorial and Maritime

Studies (Northeast Asian History

Foundation) 二—二

人文學報(京都大學人文科學研究所)

CVII

人文地理(人文地理学会) 六七—三

東洋史研究(東洋史研究会) 七四—二

日本歴史(日本歴史学会) 八〇—九

史迹と美術(史迹美術同致会) 八五—八

編集後記

本号掲載論説は、形式的には日本史と現代史に分類され、一見ヴァラエティに乏しいと思われるかもしれない。しかし、通読してみるならば、歴史学のアプローチの多様さに改めて気付かされよう。同じ神社を扱いながら、かたや遺構が考古学的に、かたや人々の歴史認識が分析されている。もちろん、新たな動向に応じて、各国の文書館に眠っていた史料を読み解く王道のアプローチも健在である。他分野の読者にも十分読み応えのある内容となっているので、ぜひ味読されたい。(岸本廣大)

お詫ごと訂正

訂正がございます。前号第九八巻第四号の表紙にて、三本目の論説、根無新太郎氏「一八六〇年代における神機營について」の副題を、「清末の北京朝廷と地方督撫に関する一考察」とすべきところが、「第二次大隈内閣期を中心として」となっております。著者ならびに読者の方々にはご迷惑をおかけいたしました。お詫びして訂正いたします。

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.shigakutenkyukai.jp/index.html>

二〇一五年九月二五日印刷
二〇一五年九月二〇日発行 定価一、二〇〇円

史林 第九八巻第五号(通巻第五一三号)

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科内

電話 (〇七五) 七五三・二七八七

発行人

史学研究会

振替京都〇一〇七〇二二五二五五番
理事長 永井和

印刷所

中村印刷株式会社
京都市南区上島羽薬田二九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XCVIII No. 5

September 2015

CONTENTS

Articles :

YAMAGISHI Tsuneto, The Formative Process of Shrine Architecture,
Focusing Chiefly on the Early and the Middle Heian Period (1)

KUZE Nao, The Image of Empress Jingū from Early Modern Times
to the Beginning of the Modern Period: Gokōnomiya Shrine
and the Katsurame of Yamashiro Province (34)

TAKATSU Tomoko, The Transatlantic Network between the American
Committee on United Europe and the European Movement,
Focusing on the Drafting of a Constitution for the European
Political Community (67)

Book review :

FUCHIHARA Tomoyuki, *A Study of the Rule over the Tōhoku Region
during the Heian Period* (KAWAHARA Azumi) (97)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円

ISSN 0386-9369